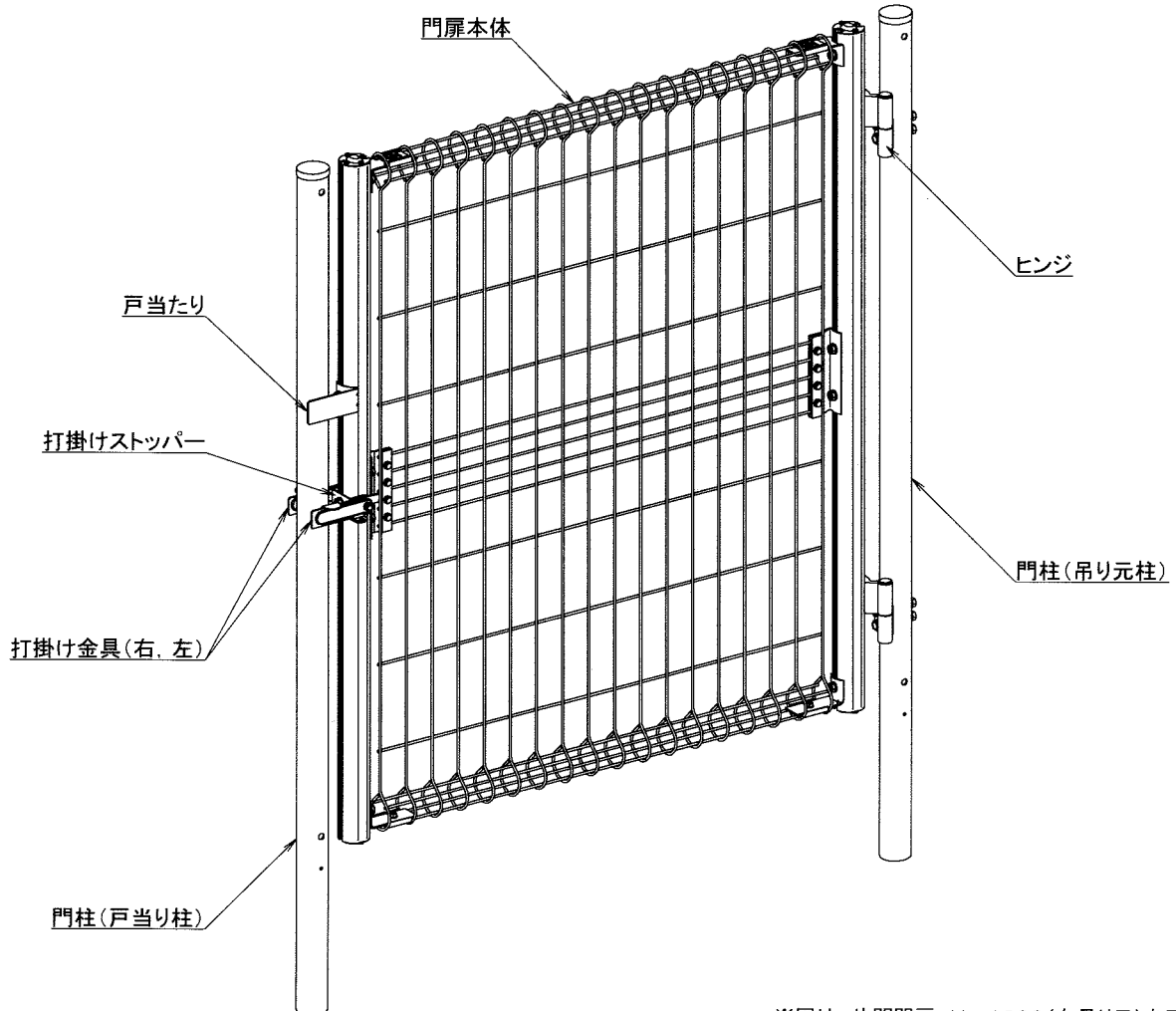


この度は弊社製品をお買い求めいただき、誠に有難うございました。本製品を正しく組み立てていただくために、この取付説明書をよくお読みください。

## 構成及び各部名称



※図は、片開門扉 H=1200(右吊り元)を示す。

## ■設置上のご注意

- 施工場所に製品が寸法的に納まるかを確認してください。
- 門柱の基礎穴に他の配管(水道、ガス等)が埋め込まれていないか確認してください。
- 強風地域でのご使用はお避けください。

## ■施工上のご注意

- みだりに製品の改造・変更をしないでください。
- 地中の埋設物には十分ご注意ください。
- 門柱の埋込みは規準通りに行ってください。又、現場の状況(軟弱地盤等)により基礎の大きさを考慮してください。
- コンクリートに使用する砂は海砂は避けてください。腐食する恐れがあります。やむなく使用する場合は十分に水洗いしてください。
- コンクリートに即乾性添加物を入れますと腐食する恐れがありますので、使用しないでください。
- 施工完了後、ボルト・ネジ・金具類の緩み、脱落が無いかを再度確認してください。
- 施工時に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。硬化後に拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。

# 梱包一覧表

## ■門扉本体

名称	サイズ	員数
0810	H1000×W800	1
0910	H1000×W900	1
0812	H1200×W800	1
0912	H1200×W900	1
1010	H1000×W1050	1
1012	H1200×W1050	1

## ■門柱

名称	員数
片開門柱 1000	吊り元柱 H=1000(1本)、戸当り柱 H=1000(1本)
片開門柱 1200	吊り元柱 H=1200(1本)、戸当り柱 H=1200(1本)
両開門柱 1000	吊り元柱 H=1000(2本)
両開門柱 1200	吊り元柱 H=1200(2本)

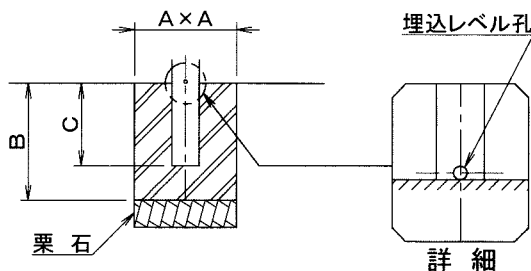
## ■部品セット

部品セット名称	部品名称	片開セット員数	両開セット員数	部品セット名称	部品名称	片開セット員数	両開セット員数
本体ヒンジセット	本体ヒンジ(53L)	2	4	打掛けセット	打掛け金具(右, 左)	1セット	—
	ヒンジ用キャップ	2	4		両開用打掛け金具(右, 左)	—	1セット
	六角ボルト M8×25	4	8		打掛け受け金具	—	1
	ナット M8	4	8		打掛けストッパー	1	1
	平ワッシャー M8	4	8		打掛けシャフト	1	1
	スプリングワッシャー M8	4	8		幅決めパイプ	1	1
	ナベネジ M4×6	2	4		ブッシュ	2	2
柱ヒンジセット	柱ヒンジ(47L)	2	4		六角ボルト M8×16	1	2
	ヒンジ用ロッド棒	2	4		ナット M8	1	2
	ヒンジ用ワッシャーφ13	2	4		袋ナット M6	2	2
	六角ボルト M8×70	4	8		平ワッシャー M8	1	2
	ナット M8	4	8		平ワッシャー M6	2	2
	平ワッシャー M8	8	16		スプリングワッシャー M6	2	2
	スプリングワッシャー M8	4	8		フェンス取付金具セット	間柱用 受け金具	4
	ナベネジ M4×12	2	4	押さえ金具		4	4
戸当りセット	戸当り	1	1	間柱用 端末バンド		2	2
	六角ボルト M8×16	1	1	固定金具		2	2
	ナット M8	1	1	六角ボルト M6×65		4	4
	平ワッシャー M8	1	1	Wセムスボルト M6×23		2	2
落とし棒セット (両開のみ使用)				間柱用 Wセムスボルト M6×16		4	4
				ナット M6		10	10
				平ワッシャー M6		14	14
				落とし棒ホルダー		—	1
				落とし棒/落とし棒つまみ	—	各1	
				落とし棒受け皿	—	1	
六角ボルト M8×16	—	2					
ナット M8	—	2					
平ワッシャー M8	—	2					

## 施工手順

### 1. 門柱の建て込み

- 1) 図と表を参考にして、基礎用の穴を掘り、底に栗石を敷いて下さい。
- 2) 基礎穴に門柱を建込み、埋込位置、高さ、垂直を調整し、垂木などで固定して下さい。
- 3) コンクリートを入れ、表面をモルタル仕上げして下さい。



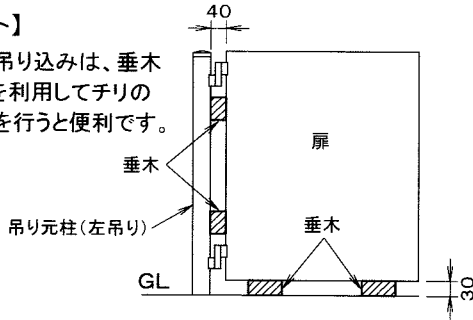
Hサイズ	A	B	C
H=1000	300	500	250
H=1200	300	600	250

## 2. ヒンジの取付

- 1) 外開の場合は、外側にヒンジ用ロット棒がくるように、内開の場合は、内側にヒンジ用ロット棒がくるように、柱ヒンジにナベネジM4×12でヒンジ用ロット棒を固定します。
- 2) 吊元柱に柱ヒンジを六角ボルトM8×70で固定し、同様に、縦框に本体ヒンジを六角ボルトM8×25で固定します。その際、締め付けは後でチリの調整をしますので、緩めに締め付けて下さい。
- 3) ヒンジ用ロット棒にヒンジ用ワッシャーφ13をセットして、扉を吊り込んでからチリの調整をします。終わったら、緩んでいるナットを強く締め付けます。※チリの調整は、下図を御参照下さい。
- 4) 本体ヒンジにナベネジM4×6で固定(扉の抜け防止)して、ヒンジ用キャップを取付けます。

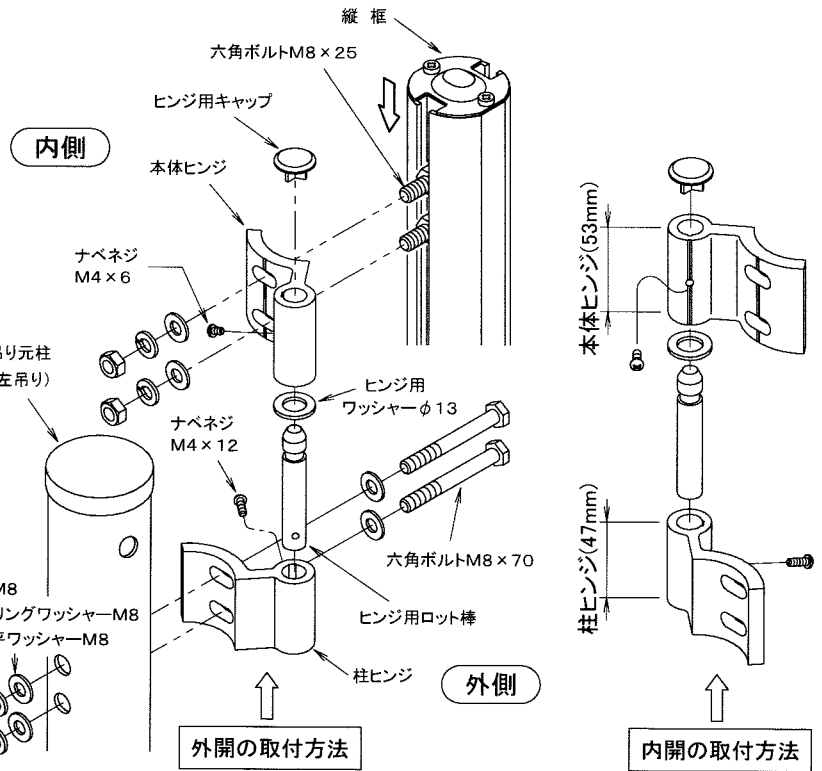
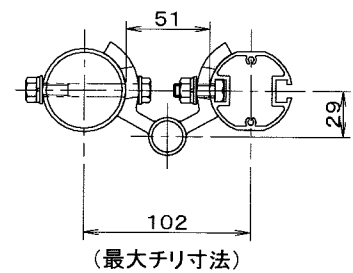
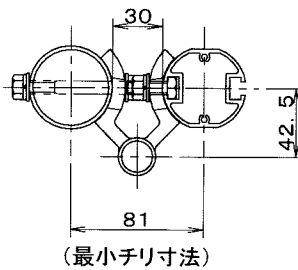
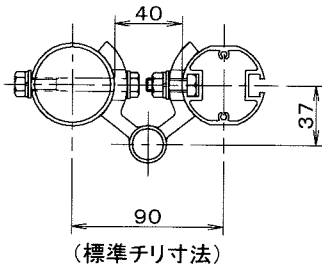
### 【ポイント】

扉の吊り込みは、垂木などを利用してチリの調整を行うと便利です。



### ※チリの調整

ヒンジを固定しているボルトを緩め、ロット棒の出入りを調整する事で、30~51mmの範囲で調整が可能です。



### ※ヒンジの区別

ヒンジ幅が、本体ヒンジ→53mm 柱ヒンジ→47mmとなります。お間違えのない様に、ご注意下さい。

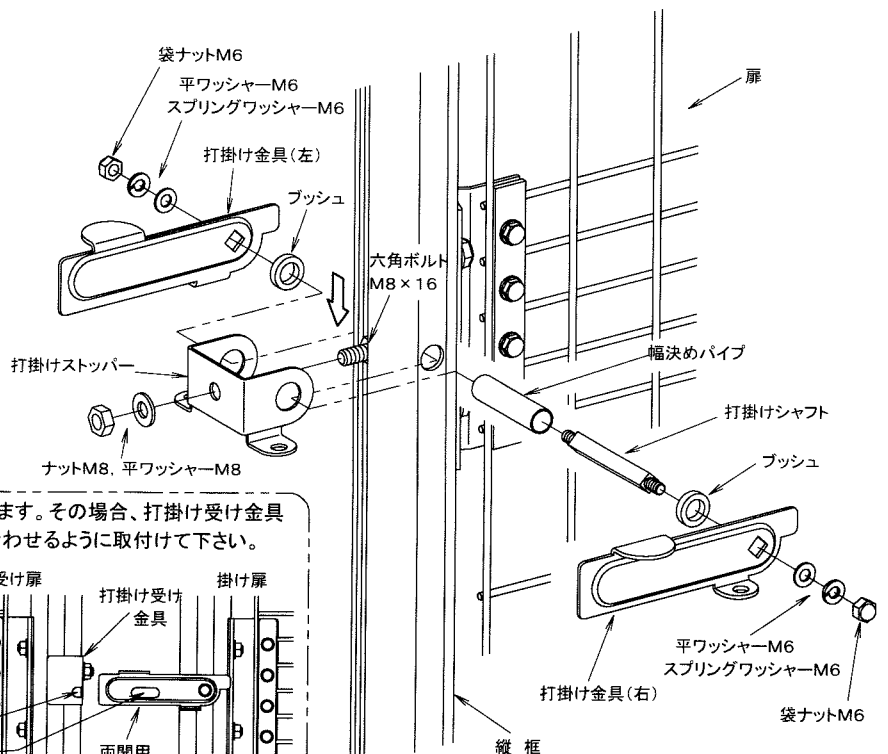
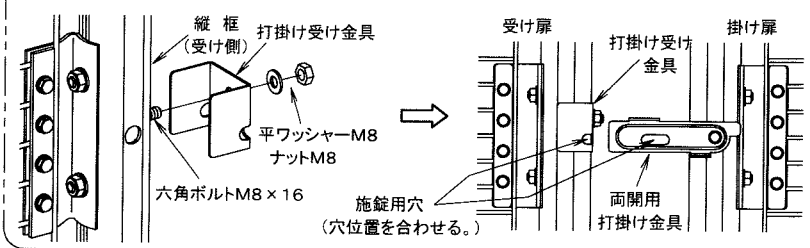
## 3. 打掛けの取付

- 1) 扉の縦框に六角ボルトM8×16をセットしておいて、縦框の穴(φ13. 5)に打掛けストッパーの穴を合わせて、ナットM8で留めます。
- 2) 縦框の穴と打掛けストッパーの穴に幅決めパイプを挿入して、その中に打掛けシャフトを挿入します。次に、打掛けシャフトにプッシュと打掛け金具の角穴を差し込んで袋ナットM6で固定します。

注意) 打掛けストッパーは、打掛け金具が水平になるように調整して下さい。

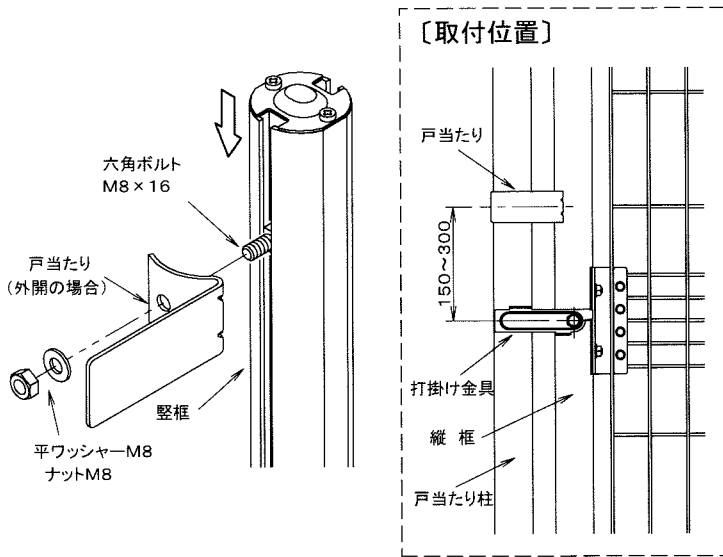
### 【両開の場合】

両開の場合は、受け側の扉に打掛け受け金具を取付けます。その場合、打掛け受け金具の施錠用穴と両開用打掛け金具の施錠用穴の位置を合わせるように取付けて下さい。



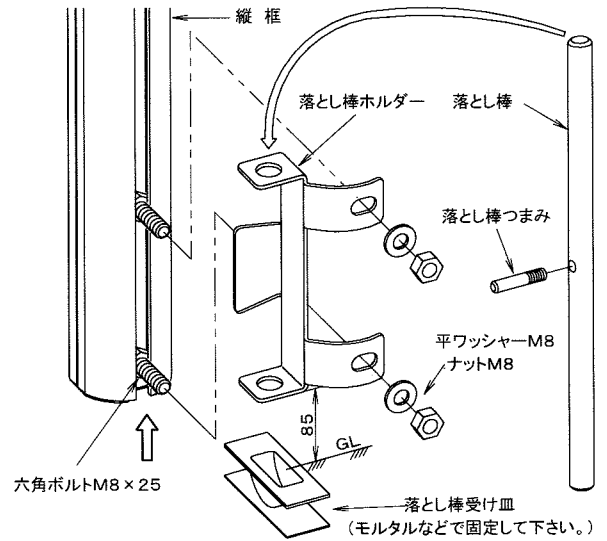
#### 4. 戸当たりの取付

- 1) 縦框に、六角ボルトM8×16を挿入し、戸当たりを固定します。
- 2) 取付位置は、右下図を御参照下さい。  
※内開の場合は、戸当たりを逆(左下図と逆)に取付けます。



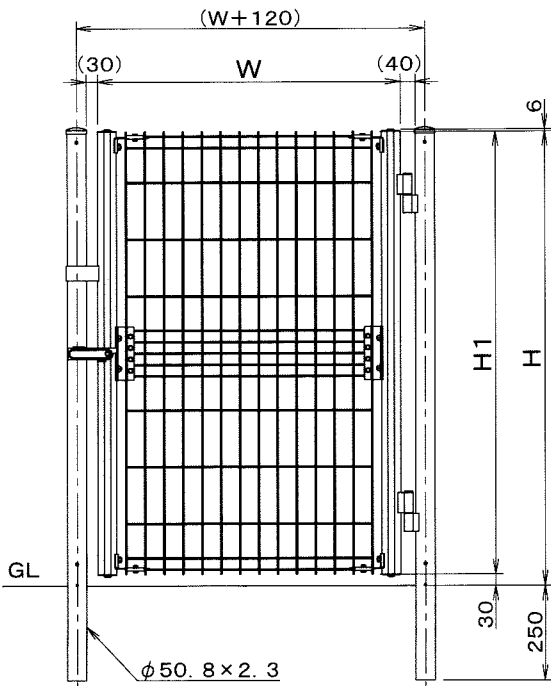
#### 5. 落とし棒の取付(両開のみ)

- 1) 落とし棒を落とし棒ホルダーに挿入してから、落とし棒つまみをねじ込みます。
- 2) 縦框に落とし棒ホルダーを、六角ボルトM8×25で固定します。その際、落とし棒ホルダーの下端からGLまでの長さを85mm程度にして下さい。(但し、現場によっては調整が必要です。)

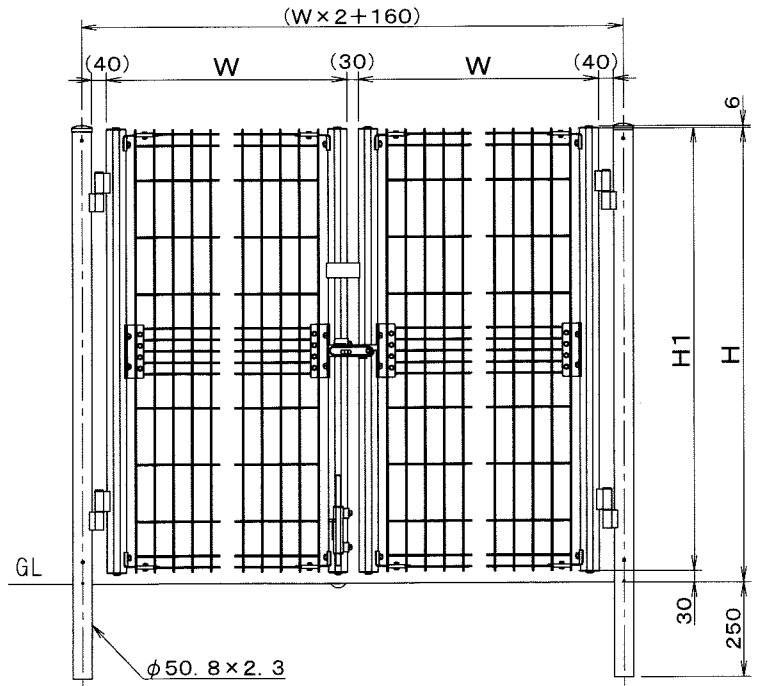


### 基本図

【片開門扉 姿図】



【両開門扉 姿図】



■寸法表

	H	H1	W
H=1000	1000	970	800, 900, 1050
H=1200	1200	1170	800, 900, 1050

※図はH=1200を示す。

**新日軽株式会社**

[エクステリア事業部]

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番1号 ゲートシティ大崎 ウエストタワー

東日本E×支店 03(5759)2208

西日本E×支店 06(6380)9275